TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	基礎ゼミ		担 当 者 名	竹松 慶	
学 科	音響芸術科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	社会人基礎力を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	人間性の向上を目標とし、思いやりを持った行動、基礎的なマナー、主体的に取り組む姿勢が出来るようになる				
授業概要	テクノスカレッジにある課題や問題を知り「音」で解決策を見出す 自分のおススメの音楽を披露しあうチェックインを毎回行い、プレゼン力を高める				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	基礎ゼミの目的、内容の説明	19	中間発表準備
	2	パワーポイント講座	20	中間発表予行練習
	3	自己紹介①	21	中間発表ー企画プレゼンテーションー
	4	自己紹介②	22	中間発表振り返り、フィードバック
	5	世の中の音楽を知ろう①	23	製作期間①
	6	世の中の音楽を知ろう②	24	製作期間②
	7	世の中の音楽を知ろう③	25	製作期間③
	8	身の回りの音に気付こう①	26	製作期間④
	9	身の回りの音に気付こう②	27	製作期間⑤
	10	身の回りの音に気付こう③	28	実行期間①
	11	企画書作成講座①	29	実行期間②
	12	企画書作成講座②	30	実行期間③
	13	企画書作成講座③	31	実行期間④
	14	企画書作成講座④	32	実行期間⑤
	15	テクノスカレッジサウンドプロデュース構想①	33	最終報告会準備
	16	テクノスカレッジサウンドプロデュース構想②	34	最終報告会予行練習
	17	テクノスカレッジサウンドプロデュース構想③	35	最終報告会
	18	テクノスカレッジサウンドプロデュース構想④	36	最終報告会振り返り、フィードバック

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	最終報告会にて
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	40%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫35 R≪実働実践型学習≫20 A≪主体的参加型学習≫35 G≪海外体感型学習≫10			
講師プロフィール	担任・副担任が担当する			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	制作実習A		担 当 者 名	藤田 厚生、清水 伸行	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	216時間
授業目的	音響機器の基礎知識を実習形式で学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	音の録音や編集に不可欠な機材・用語・社会性を理解・習得させる				
授業概要	・録音スタジオで使用する機器・ソフトウェアの使いかたの基礎を学び理解を深める ・学生からの意見が気軽にできるように配慮しながら授業を進める ・毎回各自レポートを作成し提出、翌週、問題点を解決することで理解を確実にする。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	複数のマイキング録音 2(ドラム)
	2	ステレオ音源について、モニターシステムの理解(スピーカー・ヘッドフォン)	20	アウトボード エフェクトの種類(インサート系:EQ)
	3	ケーブル・端子	21	アウトボード エフェクトの種類(ダイナミックス系 : Comp)
	4	スタジオ機材(信号の流れ)	22	SSLの使い方 応用 1
	5	ナレーション収録	23	SSLの使い方 応用 2
	6	録音の基礎_1_A (C/R) マイクの設置方法を習得する(ナレーション)_B(studio)	24	楽器の種類
	7	録音の基礎_2_B (C/R) マイクの設置方法を習得する(ナレーション)_A(studio)	25	ミキシング技術 (マルチトラック録音_1:ソロ楽器・弾き語り1_リハーサル マイキング)
	8	DAWの基礎_1_A (C/R) マイクの設置方法を習得する(アコースティックギター)_B(studio)	26	ミキシング技術 (マルチトラック録音_2:ソロ楽器・弾き語り2リハーサル_Cue Box)
	9	DAWの基礎_2_A (C/R) マイク(D.I.)の設置方法を習得する(エレキギター)_B(studio)	27	ミキシング技術 (マルチトラック録音_3:ソロ楽器・弾き語り本番)
	10	ミキシングコンソールの基礎_1_A (C/R) マイクの設置方法を習得する(ピアノ)1_B(studio)	28	ミキシング技術 (マルチトラック録音_1:バンド録音 リハーサル)
	11	ミキシングコンソールの基礎_2_A (C/R) マイクの設置方法を習得する(ピアノ)2_B(studio)	29	ミキシング技術 (マルチトラック録音_2:バンド録音 本番)
	12	音の流れ・録音から再生まで_1(DAWとコンソール) Vocalマイクのセッティング(ハンド)	30	ミキシング技術 (マルチトラック録音_3:バンド録音 復習)
	13	音の流れ・録音から再生まで_2(DAWとコンソール) Vocalマイクのセッティング(スタンド)	31	マルチトラックデータを使用したミックス 1
	14	ミキシングコンソール(SSL)の操作_ ピアノ弾き語りのマイクセッテイング	32	マルチトラックデータを使用したミックス 2
	15	DAW(Protools)とコンソール スタジオとコントロールルーム(ピアノ弾き語りセット) アウトボード エフェクト(リバーブ	33	マルチトラックデータを使用したミックス 3
	16	DAW(Protools)デジタルの基礎 3 スタジオとコントロールルーム(カラオケ:CUE box)	34	マスタリング
	17	まとめと復習 (マイク・ミキシングコンソール・ProTools)	35	まとめ
	18	複数のマイキング録音 1(ドラム)	36	試験

成績割合	テスト	10%	学習FB方法	前期・後期 成績表添付
	学習態度・出席率	60%		
	レポート	30%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	藤田厚生(フジタアツオ) 株式会社タムコ、東芝EMIを経てファンハウス設立時にエンジニアとして録音部に入社。 Bunkamuraスタジオ等レコーディングスタジオの設計建設に携わりその後株式会社タイムロード入社、 有限会社エフ設立。セイジ・オザワ・松本フェスティバルレコーディングスタッフ、タワーレコード・Defenition series SACD マスタリング、 アニメ音楽フェスティバル等の放送用MIX,ゲーム音楽マスタリング等。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	音楽演習		担 当 者 名	熊坂 正実	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必 ・ 選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	音楽の基礎知識(楽典)の理解と楽譜読解力の向上・聴く(感じる)力の強化				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	楽典知識に基づく楽譜の読み(読譜解釈)・書き(移調譜作成)と、既存楽曲の楽譜アナリーゼによる楽曲の理解を、一人の力で実践出来る事を目標とする。				
授業概要	教科書としてヤマハ音楽振興会出版の「楽典」を用い、音楽の基礎となる楽語・記譜法・楽曲構成を 其々のカテゴリーに分けて解説し、練習問題等を実践させる。 作品鑑賞やディスカッションを通して、音楽の担う役割・効果を認識させる。 専門教育を受けている者と義務教育までの者が混在する為、進度は後者に合わせて進める。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	基礎知識(派生音名)
	2	基礎知識(音符・音名・拍子記号等)	20	基礎知識(短音階)
	3	基礎知識(反復記号)	21	鑑賞・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ(無声映画における音楽の役割)
	4	基礎知識(長音階・様々な音階)	22	基礎知識(調性・調判定)
	5	鑑賞・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ(ライブ・コンサート映像)	23	基礎知識(調性・調判定)
	6	基礎知識(音程・音程名)	24	基礎知識(近親調)
	7	基礎知識(音程・音程名)	25	調性理解の為の楽譜アナリーゼ
	8	基礎知識(音程・音程名)	26	鑑賞・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ(ミュージカル作品における音楽)
	9	西洋音楽の歴史(古代ギリシャ～近現代)	27	基礎知識(移調)
	10	ピアノ譜の記譜・読譜法	28	基礎知識(移調)
	11	有名作曲家の生涯(W.A.Mozart)	29	基礎知識(移調)
	12	鑑賞・ﾃﾞｨｽｶｯｼｮﾝ(オペラ作品における音楽)	30	鑑賞・ディスカッション(近代映画作品における音楽)
	13	日本の児童音楽の歴史(童謡・唱歌)	31	移調楽器とオーケストラ総譜の記譜・読譜法
	14	バンドスコアの記譜・読譜法	32	後期試験
	15	和声とコードネームの表記法・ハーモニー	33	後期講評・復習
	16	世界各国の音楽と民謡・民族音楽	34	まとめ
	17	前期試験	35	まとめ
	18	前期講評・復習	36	まとめ

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表添付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	10%	成績評価	出席率:80%以上 S[90～100点] A[80～89点] B[70～79点] C[60～69点] D[59点以下は不合格]
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25% R≪実働実践型学習≫25% A≪主体的参加型学習≫25% G≪海外体感型学習≫25%
講師プロフィール	武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所でのオペラ公演やミュージカル、ディナーショーやジャズライブ等のステージに出演。東洋学園大学にて音楽学の講師を務める。ヴェント・ピアノヴォーカル教室主宰、ミューズ熊坂音楽スタジオ講師、ベルカント音楽院講師。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	メディアコミュニケーション		担 当 者 名	小泉 みのり	
学 科	音響芸術科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	コンピュータグラフィックスの可能性を知り、使いこなせることを目的とする				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	作品完成までの様々なプロセスを体験し、責任もって制作できる人材を目標とする				
授業概要	実習形式を基本として、PCのソフトウェアについての操作方法から作品作りを通じて実践的な学習を取り入れる。主に個人制作を行う				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション ソフトウェア紹介・基本操作① PC基礎	19	テキストアニメーション
	2	基本操作②（ツール・パネル・ファイル・保存）	20	クイックマスクとレイヤーマスク
	3	写真補正①（選択範囲）	21	ツールレッスン（レッタチ・ブラシパターンの定義）
	4	色調補正（調整レイヤー）	22	シェイプ,マスクを利用したアニメーション
	5	写真加工①（フィルター）	23	グラデーションマップ・版ずれ効果・RGBとCMYK
	6	写真補正②人物補正（修復）	24	レイヤー,エフェクトを活用する
	7	背景用アニメーション	25	デザインフォーマット
	8	写真合成①レイヤー・切抜き・マスク	26	空間演出①自然現象の作成
	9	タイトルアニメーション	27	空間演出②光
	10	ロゴマーク作り_レイヤースタイル	28	空間演出③炎
	11	キャラクターを動かす	29	レイヤーマスク（応用）
	12	画面レイアウト__文字・描画モード・地図	30	ブラシのカスタマイズ・画像操作で時間をかえる
	13	エフェクトアニメーション①	31	タイトル制作②
	14	エフェクトアニメーション②	32	マルチカメラ編集
	15	ジャケット制作①	33	後期末作品制作①
	16	ジャケット制作②	34	後期末作品制作②
	17	吹き出しの作成・パスの描き方	35	後期末制作作品最終調整
	18	前期末制作	36	作品講評会

成績割合	テスト	40%	学習FB方法	成績表
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	40%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 作品評価 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫35% R≪実働実践型学習≫35% A≪主体的参加型学習≫20% G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	ポストプロダクション業界の出身者で現在はフリーランスのエンジニアとして活動。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	サウンドレコーディング技術概論Ⅰ		担 当 者 名	山下 修平	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	音響の基本であるアナログ現象の理解とデジタル化の理解を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	アナログをデジタル化するプロセスを学び、目的・用途による実際を知る				
授業概要	デジタル化の誕生からの進展と今後のあり方を考え音響分野における様々な方式を学び理解する				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	音の三属性および条件	19	パルス符号変調の仕組み
	2	周波数・波長・周期の関係性	20	音声におけるデジタル情報処理技術①
	3	聴覚器官の構造	21	音声におけるデジタル情報処理技術②
	4	波の伝達、平面波・球面波について	22	音声におけるデジタル情報処理技術③
	5	位相とバランス伝送の仕組み	23	固体メディアによるデジタル記録①
	6	電気について(基礎)	24	固体メディアによるデジタル記録②
	7	電気について(直流・交流)	25	音声圧縮技術①
	8	レコーディングに使用される機材について①	26	音声圧縮技術②
	9	レコーディングに使用される機材について②	27	音声圧縮技術③
	10	レコーディングに使用される機材について③	28	dBの基礎①
	11	マイクロフォンの構造と仕組み①	29	dBの基礎②
	12	マイクロフォンの構造と仕組み②	30	アナログ分野でのdBについて
	13	前期期末試験対策	31	デジタル分野でのdBについて
	14	前期期末試験	32	ダイナミックレンジとSN
	15	講評	33	現在の音響規格について
	16	アナログとデジタルについて	34	試験対策授業
	17	二進数・十六進数	35	後期試験
	18	変調技術と応用	36	後期試験の講評

成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表添付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	PAエンジニアやメンテナンスエンジニアを中心に活動			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	サウンドテクニックⅠ		担 当 者 名	山崎 俊樹	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	ビジネススキル（働くうえで必要な能力・技術）を修得し、卒後Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	キャリアについて考えるⅠ	20	卒後visionを磨く
	3	キャリアについて考えるⅡ	21	就活の軸を考える
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え
	5	自己探究Ⅰ	23	SDGsとこれからの働き方について考える
	6	自己探究Ⅱ	24	就職活動について考える
	7	グローバルとキャリアについてⅠ	25	就活と生成AIツールの活用についてⅠ
	8	グローバルとキャリアについてⅡ	26	就活と生成AIツールの活用についてⅡ
	9	インターンシップについて考えるⅠ	27	特別講座に向けて準備
	10	インターンシップについて考えるⅡ	28	履歴書の書き方について
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習
	12	卒後Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう
	13	インターンシップ 準備	31	プレゼンテーションをやってみよう
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習
	16	グループディスカッション練習	34	卒後VISIONの確認
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り

成績割合	テスト	確認テスト(Forms)30%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	学習態度・出席率			
	レポート	卒後ビジョンの提出 70%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫40 % R≪実働実践型学習≫20 % A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	デジタルツール Ⅰ		担 当 者 名	天野 龍洋	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	コンピュータに慣れ親しむ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	「ProTools」を使って録音・編集・ミックスができるようになる。レコーディングスタジオで即戦力になれるようにする				
授業概要	レコーディングスタジオ業界標準のDAW(コンピュータを使用した統合型の音楽楽曲制作ソフトウエア)「ProTools」を、JAPRS(一般社団法人日本音楽スタジオ協会)の「ProTools技術認定試験」の受験も視野に入れ、基礎から応用まで、実際にコンピュータを操作しながら学ぶ				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	自己紹介。参加作品紹介。スタジオで使用されるキーボードとマウスとトラックボールの種類・仕様について。	19	プラグイン 5 その他・飛び道具系
	2	モニタースピーカー・モニターヘッドホン、リスニング用との違い、スピーカーの種類、ヘッドホンの種類、予算別お勧め機材。業界誌の紹介	20	ショートカット
	3	Pro Toolsを使うにあたってのMac OS側の初期設定について	21	MIDI
	4	Pro Toolsを使うにあたっての初期設定について	22	マスタリング
	5	セッションを作る・トラックを作る時の作法・セッションネーム・ファイルネームについて	23	バウンス
	6	インプット・アウトプット・バスの仕組み	24	映像を取り込む
	7	インポート・エクスポート	25	映像に音をつける 1
	8	音を鳴らす	26	映像に音をつける 2
	9	プラグイン 1 音源系	27	オートメーション
	10	録音してみる	28	映像にあわせてミックス
	11	録音した音の編集 1	29	プレビュー
	12	録音した音の編集 2	30	講評
	13	ミックス 1 音量の調整	31	疑問点の解説
	14	講評	32	実際の運用方法
	15	前期おさらい	33	ProTools 以外のDAW
	16	プラグイン 2 空間系	34	機材にまつわるお話
	17	プラグイン 3 イコライザー	35	世界各国のDAW事情
	18	プラグイン 4 ダイナミクス系	36	レコーディングスタジオの未来とこれから必要な人材

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期 後期 成績表添付
	学習態度・出席率	70%		
	レポート		成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 作品評価 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	1975年生まれ。神奈川県出身。アニメ「ヤマノススメ Next Summit」劇場版アニメ「からかい上手の高木さん」、吹き替えアニメ「TEEN TITANS GO!」、ホール収録「日本管楽合奏コンテスト」フジテレビ「B-BOY PARK2002」、ライブDVD「ELLEGARDEN BOOTLEG」「nobody knows+ 出張ネバーランド@名古屋」等に録音や調整で参加。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	効果制作Ⅰ		担 当 者 名	稲田 祐介	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	効果音を作る・録る・使う、の基本を身につけ、実用できるようになる				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	様々な場面で必要とする効果音を自ら考え、効果音に対する感性を磨かせる				
授業概要	・アニメ、映画、舞台、CMなど様々な場面で使用される効果音をミキサーとして実際にどのように制作・録音・編集するのかを考えさせる ・Protoolsを使用して実践的に理解を深める				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講師紹介、過去の効果制作と現代の効果制作①	19	実現出来ない効果音について
	2	過去の効果制作と現代の効果制作②	20	アニメーションSE①
	3	MacとProToolsの基本操作について①	21	アニメーションSE②
	4	MacとProToolsの基本操作について①	22	中間制作
	5	効果音の技術の秘密	23	中間制作
	6	シーンごとのイメージを考える①	24	中間制作
	7	シーンごとのイメージを考える②	25	講評
	8	DAWを使用した編集作業①	26	日常生活における屋内での効果音
	9	DAWを使用した編集作業②	27	日常生活における屋外での効果音
	10	DAWを使用した編集作業③	28	音声加工について
	11	DAWを使用した編集作業④	29	生音から電子音について
	12	SEでよく使用するプラグイン①	30	後期末課題制作
	13	SEでよく使用するプラグイン②	31	後期末課題制作
	14	課題制作	32	後期末課題発表
	15	課題制作	33	講評
	16	講評	34	まとめ
	17	冬を彩る効果音①	35	まとめ
	18	冬を彩る効果音②	36	まとめ

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期 後期 成績表添付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上、定期筆記試験100点満点のする60点以下は追試を行う S90～100点 A80～89 B70～79点 C60
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	ゼロデシベルに所属する効果音エンジニア。アニメや映画等幅広く活躍する。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	映像技術Ⅰ		担 当 者 名	亀田 亮治	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	ポストプロダクション業界で役に立つ映像と音響の基礎を学び、進路の幅を広める				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	デジタルだけでなく、アナログにおける根本的な理解を深める				
授業概要	アニメや映画、映像にか欠かせない音の知識とともに映像の知識を養う				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講師紹介、実習環境の確認	19	デジタル信号のフォーマット
	2	マスコミについて	20	SMPTEタイムコード
	3	今のアニメーションの業界と経済①	21	インターフェースと映像信号の伝送
	4	今のアニメーションの業界と経済②	22	映像の記録のシステム
	5	今のアニメーションの業界と経済③	23	VTRのフォーマット
	6	エンジニアとは	24	ファイルベースシステム
	7	映像基礎	25	光ディスクシステム
	8	音声基礎①	26	デジタル映像のガンマ特性
	9	音声基礎②	27	デジタル映像の補正・調整
	10	映像・音声の編集と加工①	28	様々な映像素材
	11	映像・音声の編集と加工②	29	映像の製作過程における編集作業
	12	ポストプロダクションの役割	30	リニア編集とノンリニア編集
	13	解像度と画素	31	画質の管理方法
	14	テレビ放送の歴史	32	映像編集をするにあたっての注意点
	15	デジタル放送方式の変化	33	フォーマットコンバート
	16	前期定期試験対策	34	後期試験対策
	17	前期定期試験	35	後期試験
	18	前期講評	36	講評

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表添付
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	30%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	アニメを始め、吹き替え映画・ドラマや配信ゲーム関連等、幅広く録音調整等で活動するエンジニア			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	応用ゼミ		担 当 者 名		
学 科	音響芸術科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	「社会に貢献すること」を目標に、学生が主体となり、1年間培ってきた学びや技術を実践していく事。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.社会企業を探求し、企業が抱えている課題に対して「音の力」を活かして解決し、社会に貢献する。 2.民間企業や団体、また、他学科との連携を通じて、コミュニケーション力や調整能力、プレゼンテーション力など、社会に役立つ力を身につける。				
授業概要	「世の中にはどんな課題があるのか」を身の回りの出来事やニュースなどを見て探求します。また、発見した社会の課題において、これまでに音響芸術科で得た知識や技術をどのように役立てることができるかを模索し、民間企業や機関・団体、そしてテクノスカレッジの他学科との連携を通じて、学生主体で企画を立ち上げ、社会課題の解決に向けて推進していきます。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	テクノスゼミについて	19	中間発表準備④
	2	世の中の課題について探求する①	20	中間発表
	3	世の中の課題について探求する②	21	振り返り・講評
	4	問題点や課題点を導き出す①	22	制作作業①
	5	問題点や課題点を導き出す②	23	制作作業②
	6	方向性を決める①	24	制作作業③
	7	方向性を決める②	25	制作作業④
	8	目的目標の確認、企画書制作について	26	実行期間①
	9	企画書制作講座①	27	実行期間②
	10	企画書制作講座②	28	実行期間③
	11	企画書制作講座③	29	実行期間④
	12	企画書制作①	30	最終報告会準備①
	13	企画書制作②	31	最終報告会準備②
	14	企画書制作③	32	最終報告会準備③
	15	企画書制作④	33	最終報告会準備④
	16	中間発表準備①	34	最終報告会
	17	中間発表準備②	35	まとめ
	18	中間発表準備③	36	まとめ

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	中間発表・最終報告にて行う
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	40%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 作品評価 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	担任が担当する			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	卒業制作		担 当 者 名	秋元 孝夫、宇田 紗弥香	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	11単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	396時間
授業目的	1年次に学んだ音響分野の基礎を生かし、前期・後期2作品を学生主体で作品をつくる				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	習得した知識、理論、技能を活用して班（個人）単位にて、映像・音声・音楽作品の企画、制作をを通じ更なる知識、技能の向上を目指す				
授業概要	・各グループに分かれて企画・制作・編集・納品までを行う ・他学科の協力のもと、共同制作も展開する。 ・作品をSNSで配信することによりクオリティの高い作品づくりを目指す				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	オリエンテーション	19	後期制作班グループ分け・テーマ決め
2	機材操作のおさらい①(レコーディング)	20	企画書制作会議①
3	機材操作のおさらい②(レコーディング)	21	企画書制作会議②
4	機材操作のおさらい③(レコーディング)	22	企画書制作会議③
5	機材操作のおさらい④(ミックス)	23	作品制作①
6	機材操作のおさらい⑤(2,3st)	24	作品制作②
7	機材操作のおさらい⑥(2,3st)	25	作品制作③
8	企画・ミーティング	26	作品制作④
9	グループ分け・テーマ決め	27	作品制作⑤
10	企画書制作会議	28	作品制作⑥
11	作品制作①	29	作品制作⑦
12	作品制作②	30	作品制作⑧
13	作品制作③	31	作品制作⑨
14	作品制作④	32	作品制作⑩
15	作品制作⑤	33	作品制作⑪
16	作品制作⑥	34	プレビュー
17	作品制作⑦	35	直し
18	プレビュー／作品講評	36	作品講評

成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80％以上、定期筆記試験100点満点のする60点以下は追試を行う S90～100A80～89 B70～79点 C60～6
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	長年レコーディングエンジニアとしてご活躍されており、アナログ時代からデジタル時代まで幅広い知識があり実務経験を活かした講義を行う			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	サウンドレコーディング技術概論Ⅱ		担 当 者 名	山下 修平	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	音響機器におけるデジタル化の知識を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	最新デジタル応用技術について詳細を知る				
授業概要	アナログ・デジタル両方式の違いによるメリット・デメリットを正しく理解し判断力を養う				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	最新デジタル技術(マルチビット)	19	最新のHDD(正しい使用方法)
	2	最新デジタル技術(1ビット方式)	20	最新のHDD(将来性の技術①)
	3	最新デジタル技術(アドバンスセグメント方式)	21	最新のHDD(将来性の技術②)
	4	最新デジタル技術(ビット圧縮方式①)	22	音声記録概論の歴史①
	5	最新デジタル技術(ビット圧縮方式②)	23	音声記録概論の歴史②
	6	最新デジタル技術(HDDの歴史①)	24	音声記録技術(アナログ)
	7	最新デジタル技術(HDDの歴史②)	25	音声記録技術(デジタル)
	8	最新デジタル技術(メカニズム)	26	将来の記録技術と再生技術①
	9	最新デジタル技術(信号処理)	27	将来の記録技術と再生技術②
	10	最新デジタル技術(メディア開発)	28	後期期末試験対策
	11	デジタル技術の応用(音声①)	29	後期期末試験
	12	デジタル技術の応用(音声②)	30	講評
	13	前期期末試験対策	31	
	14	前期期末試験	32	
	15	講評	33	
	16	最新のHDD(磁性機の発達)	34	
	17	最新のHDD(メカニズムの発達)	35	
	18	最新のHDD(サーボ制御技術)	36	

成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	20%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上、定期筆記試験100点満点のする60点以下は追試を行う S90～100点 A80～89 B70～79点 C60
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	PAエンジニアやメンテナンスエンジニアを中心に活動			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	サウンドテクニックⅡ		担 当 者 名	山崎 俊樹	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	近年の現場事情を理解した上でスタジオシステムを理解する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	教科書にはない実際に講師自身が経験したノウハウを教わり機材知識や行動力、そして人間力を高める				
授業概要	講師が携わってきたスタジオを題材に近年の技術を学ぶ				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講師紹介、授業概要共有	19	近年のスタジオシステムについて①
	2	ネットワークオーディオについて①	20	近年のスタジオシステムについて②
	3	ネットワークオーディオについて②	21	空間オーディオの制作環境①
	4	ネットワークオーディオについて③	22	空間オーディオの制作環境②
	5	DANTEについて①	23	近年の空間オーディオの技術①
	6	DANTEについて②	24	近年の空間オーディオの技術②
	7	DANTEについて③	25	最新機材についてディスカッション①
	8	アナログ機材とデジタル機材の違い	26	最新機材についてディスカッション②
	9	プラグインと実機の違い	27	二年を通してのスタジオシステムの理解を確認
	10	マイクの聴き比べ	28	DAWについて①
	11	スピーカーの聴き比べ	29	DAWについて②
	12	プラグインについて	30	近年のエンジニアに求められる内容①
	13	システムの構築①	31	近年のエンジニアに求められる内容②
	14	システムの構築②	32	近年のエンジニアの仕事の変わり方①
	15	システムの構築③	33	近年のエンジニアの仕事の変わり方②
	16	前期面談①	34	後期面談①
	17	前期面談②	35	後期面談②
	18	前期講評	36	講評

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	後期 成績表送付
	学習態度・出席率	40%		
	レポート	30%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫10% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫30%			
講師プロフィール	音響機器を使ったシステムの設計、導入、販売、メンテナンスを経て独立。フリーのエンジニアとして活躍中。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	デジタルツールⅡ		担 当 者 名	天野 龍洋	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	録音業界の仕組み・常識・ワークフロー・業界の暗黙のルール・社会人としてのマナーなどを知る				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	入社したばかりなのに何年も前からそこで働いていたかのように振る舞えるような基礎知識を得ること				
授業概要	毎年のようにハードウエアやソフトウエアが発売・更新されていきますし、流行り廃りもあるので、録音のワークフローは未だ日進月歩です。機材の説明書は存在しても作業に対するマニュアルは用意されていません。研修もほとんどが実作業を見学するのみで解説してもらえません。「見て盗め」です。そのような業界において「見て盗む」ために必要な知識、勉強のしかたを実際の経験からお話ししていきます				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	一年間通しての学び方、やりたいことのリクエスト受付 SSL4000Gのモードの違い	19	アフレコのワークフロー 2
	2	iPhoneからSSLに音を立ち上げる時の作法。メーターとは。 フェーダー操作の練習	20	アフレコのワークフロー 3
	3	何らかの理由で機材が使用できない時の対処法 その1	21	アフレコのワークフロー 4
	4	何らかの理由で機材が使用できない時の対処法 その2	22	MA(バラエティー・ドキュメンタリー・CM)のワークフロー 1
	5	アナログミキシングコンソールとフィジカルコントローラーの使用法	23	MA(バラエティー・ドキュメンタリー・CM)のワークフロー 2
	6	アナログミキシングコンソールとフィジカルコントローラーの使用法 その1	24	ゲーム 音声収録のワークフロー 1
	7	アナログミキシングコンソールとフィジカルコントローラーの使用法 その2	25	ゲーム 音声収録のワークフロー 2
	8	アナログミキシングコンソールとフィジカルコントローラーの使用法 その1	26	レコーディングエンジニアの心構え 1
	9	アナログミキシングコンソールとフィジカルコントローラーの使用法 その2	27	レコーディングエンジニアの心構え 2
	10	よく使われる機材の実際の使用法 その1	28	アフレコスタジオの未来
	11	よく使われる機材の実際の使用法 その2	29	MAスタジオ（バラエティー・ドキュメンタリー・CM）の未来
	12	よく使われるプラグインの実際の使用法 その1	30	ゲーム会社のスタジオの未来
	13	よく使われるプラグインの実際の使用法 その2	31	自宅録音・配信の未来
	14	前期試験	32	これから必要なスキル・求められる人材 1
	15	前期まとめ・講評	33	これから必要なスキル・求められる人材 2
	16	MAスタジオでの専門用語 1	34	試験
	17	MAスタジオでの専門用語 2	35	後期まとめ・講評
	18	アフレコのワークフロー 1	36	年間通してのまとめ

成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	70%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	1975年生まれ。神奈川県出身。アニメ「地縛少年花子くん」、吹き替えアニメ「おかしなガムボール」、ドラマCD「抱かれたい男1位に脅されています」、洋画吹き替え「ラスト・ナイツ」「ゼログラビティー」、海外ドラマ吹き替え「ドクター・フー シーズン8」ゲーム「グランブルー・ファンタジー」等に録音や調整で参加。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	効果制作Ⅱ		担 当 者 名	稲田 祐介	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	音響効果がもたらす音の力を自身の強みとして取得する 音楽のMA作業をより深く追求する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	作品制作を通し、エンジニアとして幅広く出来る知識と技術を身につける				
授業概要	・DAWソフトを用いて作品に音を付ける作業を繰り返し行い、技術向上を試みる ・様々な音楽に触れ、現代だけではなく過去や未来の音楽を探求する				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	音楽業界の今	19	音楽著作権④
	2	音楽業界の過去・未来	20	音楽著作権⑤
	3	アニメ業界の今	21	MA作業①
	4	アニメ業界の過去・未来	22	MA作業②
	5	DAWの復習①	23	MA作業③
	6	DAWの復習②	24	MA作業④
	7	MA作業①	25	MA作業⑤
	8	MA作業②	26	MA作業⑥
	9	MA作業③	27	MA作業⑦
	10	MA作業④	28	MA作業⑧
	11	MA作業⑤	29	MA作業⑨
	12	MA作業⑥	30	MA作業⑩
	13	MA作業⑦	31	MA作業⑪
	14	作品提出・発表	32	MA作業⑫
	15	講評	33	MA作業⑬
	16	音楽著作権①	34	MA作業⑭
	17	音楽著作権②	35	後期作品提出・発表
	18	音楽著作権③	36	講評

成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上、定期筆記試験100点満点のする60点以下は追試を行う S90～100点 A80～89 B70～79点 C60
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	数多くのアニメの音響効果を行っている現役エンジニアが担当する			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	映像技術Ⅱ		担 当 者 名	亀田 亮治	
学 科	音響芸術科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	ポストプロダクション業界で役に立つ映像と音響の基礎を学び、進路の幅を広める				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	デジタルだけでなく、アナログにおける根本的な理解を深める				
授業概要	・一般社団法人日本ポストプロダクション協会発行のポストプロダクション技術マニュアルを参考に、機材の操作技術はもちろん、映像・音声信号の基礎や最新のワークフローなど処理技術の基礎から応用までを養う ・一般社団法人日本ポストプロダクション協会のJPPA映像音響処理技術者認定試験にも対応した授業である				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	MAシステムについて	19	MAについて(ネットワークオーディオ)
	2	DAWによるMA作業①	20	MAについて(エフェクト)
	3	DAWによるMA作業②	21	MAについて(デジタルシステムの同期)
	4	デジタル信号	22	MAについて(メーター)
	5	音声ファイル	23	MAについて(まとめ)
	6	MAについて(ミキシングコンソール)①	24	Goproを使った映像の制作
	7	MAについて(ミキシングコンソール)②	25	Goproを使った映像の講評
	8	MAについて(周辺機器)①	26	スマートフォンを使った映像の制作
	9	MAについて(周辺機器)②	27	スマートフォンを使った映像の講評
	10	MAについて(マイクロフォン)	28	カメラの様々なレンズについて①
	11	MAについて(DAW)	29	カメラの様々なレンズについて②
	12	MAについて(映像の遅延)	30	カメラの様々なレンズについて③
	13	MAについて(アニメと映画のMA)	31	ドルビーアトモスについて①
	14	前期試験	32	ドルビーアトモスについて②
	15	前期講評	33	ドルビーアトモスについて③
	16	MAについて(デジタルミキシングコンソール)	34	ドルビーアトモスについて④
	17	MAについて(デジタルシステムのMAにおける注意点)	35	後期試験
	18	MAについて(ラウドネスメーター)	36	後期講評

成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	20%	成績評価	出席率 80%以上 取り組み姿勢 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	アニメを始め、吹き替え映画・ドラマや配信ものまで幅広く録音調整等で参加し活動している。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	キャリアセンター　佐藤・沼田	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	ビジネススキル（働くうえで必要な能力・技術）を修得し、卒後Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション
	2	キャリアについて考えるⅠ	20	卒後visionを磨く
	3	キャリアについて考えるⅡ	21	就活の軸を考える
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え
	5	自己探究Ⅰ	23	SDGsとこれからの働き方について考える
	6	自己探究Ⅱ	24	就職活動について考える
	7	グローバルとキャリアについてⅠ	25	就活と生成AIツールの活用についてⅠ
	8	グローバルとキャリアについてⅡ	26	就活と生成AIツールの活用についてⅡ
	9	インターンシップについて考えるⅠ	27	特別講座に向けて準備
	10	インターンシップについて考えるⅡ	28	履歴書の書き方について
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習
	12	卒後Visionを振り返る	30	自己プロデュースをやってみよう
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをやってみよう
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習
	16	グループディスカッション練習	34	卒後VISIONの確認
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト（Forms）	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅰ		担 当 者 名	キャリアセンター　宮鍋・井上	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身に着ける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、 体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②
	18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	アンケート、面接練習、 履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅰ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。″				
授業概要	″数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2)日本文学
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1)世界文学
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2)国語　成績判定試験(2)
	4	数と量の文章問題(1)慣用語の読み	22	場合の数(1)民主主義
	5	因数分解(1)常用漢字外の読み	23	場合の数(2)日本国憲法
	6	因数分解(2)漢字一字の書き取り	24	確率(1)国際社会
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2)資本主義経済・企業
	8	平方根の計算(1)同訓異字の書き取り	26	数学　後期成績判定テスト(1)国民経済・日本の経済
	9	平方根の計算(2)同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算　復習テスト貨幣・金融・財政
	10	数学　前期成績判定テスト(1)同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式　復習テスト(1)社会　成績判定試験(1)
	11	1次方程式、連立方程式国語　成績判定試験(1)	29	方程式と不等式　復習テスト(2)日本史(1)
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題　復習テスト(1)日本史(2)
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題　復習テスト(2)世界史
	14	数と量の文章問題(2)書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ　復習テスト日本地理
	15	割合の文章問題(1)同字異音・同字異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1)世界地理
	16	割合の文章問題(2)四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2)思想・社会・文化
	17	数学　前期成績判定テスト(2)故事成語・諺・慣用句・金言の完成と意味	35	数学　後期成績判定テスト(2)社会　成績判定試験(2)
	18	速さの文章問題(1)語句の読みと意味	36	まとめ

成績割合	テスト	″数学 80%　国語・社会 80%″	学習FB方法	″数学　前期・後期　成績表送付 国語・社会　前期・後期　成績表送付″
	学習態度・出席率	″数学 10%　国語・社会 10%″		
	レポート	確認テスト数学 10%　国語・社会 10%″	成績評価	S:90-100,　A:80-89,　B:70-79,　C:60-69　,D:0-59
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫　R≪実働実践型学習≫　A≪主体的参加型学習≫　G≪海外体感型学習≫			
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	楳村 麻里子	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目（全7科目）の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書＆メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とリポート＆試験	19	情報分析力を鍛える①
	2	オリエンターション②リポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③
	4	ビジネス文書＆メールの書き方①	22	考える力をつける①
	5	ビジネス文書＆メールの書き方②	23	考える力をつける②
	6	ビジネス文書＆メールの書き方③	24	考える力をつける③
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③
	13	評論読解と要約のポイント①	31	リポート作成のポイント③
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③
	15	リポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振返り
	17	前期内容振返り	35	年間内容振返り
	18	後期リポート作成計画	36	まとめ

成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100　A80～89　B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	吉田 緑	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法（債権総論、債権各論）、刑法（総論、各論）である。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすること を目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	刑法（各論）：第2課題
	2	オリエンテーション	20	刑法（各論）：第2課題
	3	法律学習の基礎：①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法（債権総論）：第1課題
	4	法律学習の基礎：①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法（債権総論）：第1課題
	5	レポートの書き方①	23	民法（債権総論）：第2課題
	6	レポートの書き方②	24	民法（債権総論）：第2課題
	7	課題の題意把握	25	民法（債権各論）：第1課題
	8	課題の題意把握	26	民法（債権各論）：第1課題
	9	憲法：第1課題	27	民法（債権各論）：第2課題
	10	憲法：第1課題	28	民法（債権各論）：第2課題
	11	憲法：第2課題	29	憲法（残りの課題）
	12	憲法：第2課題	30	刑法（残りの課題）
	13	刑法（総論）：第1課題	31	刑法（残りの課題）
	14	刑法（総論）：第1課題	32	民法（残りの課題）
	15	刑法（総論）：第2課題	33	民法（残りの課題）
	16	刑法（総論）：第2課題	34	結果報告
	17	刑法（各論）：第1課題	35	まとめ
	18	刑法（各論）：第1課題	36	まとめ

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。
	学習態度・出席率	80%		
	レポート	20%	成績評価	出席率80％以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100%　R≪実働実践型学習≫10%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫0%			
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師（憲法、刑事政策、犯罪学等）を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ	担 当 者 名	高木 佳子、原 祥
学　科		授業方法	講義

認定単位	4単位	開 講 期		授 業 時 間 数	72時間
開講学年	1学年	必・選	選択		

授業目的	日大英文科で二年次に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史（18世紀以降）の知識の習得と理解を目指す。
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ（4単位） ・アメリカ文学史（4単位）
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』（日本大学通信教育学部）、『アメリカ小説入門』（研究社）に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	スケジュール説明：レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史（ロマン主義）：歴史的概要1（清教徒革命の影響）	19	論文を読む。Theme，先行研究、Thesis statementに着目する。 （『緋文字』）
2	・イギリス文学史（ロマン主義）：歴史的概要2（フランス革命の影響） ・トリコロール（自由・平等・博愛）	20	アメリカ文学史⑤～⑧までの小テスト
3	・イギリス文学史①（ロマン主義・詩）ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨　ポストモダンの時代　ｉ ヘンリー・ミラー、サリンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど
4	・イギリス文学史②（ロマン主義・詩）バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩　ポストモダンの時代ⅱ カポーティ、テネシーウィリアムズ、ヴォネガット、アップダイク、アーヴィングなど
5	イギリス文学史③（ロマン主義・小説）スコット、オースティン アメリカ文学史：歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪　マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチョンなど
6	アメリカ文学史①　植民地時代　（ピューリタニズム） アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑪までの小テスト
7	アメリカ文学史②　独立期から西漸運動　（ロマン主義の時代ｉ） ブラウン、アービング、クーパー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④　ヴィクトリア朝時代ｉ…ディケンズ、サッカレー、ブロンテ姉妹
8	アメリカ文学史③　独立期から南北戦争まで　（ロマン主義時代ⅱ） エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディッキンソンなど	26	イギリス文学史⑤　ヴィクトリア時代ⅱ…エリオット、メレディス、ギャスケルら
9	アメリカ文学史④　南北戦争から第一次大戦まで。（リアリズム小説） オールコット、マークトゥエイン、ハウエルズ、ジェイムズなど	27	イギリス文学史⑥　ヴィクトリア時代ⅲ…テニスン、ブラウニングなど詩人連
10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴（文体・内容・時代背景）を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦　第一次世界大戦とその周辺ｉ…ハーディ、ヘンリージェイムズ、コンラッド、キプリングなど多数
11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧　第一次世界大戦とその周辺ⅱ…作家：H.Gウェルズ、スティーブンソン、コナン・ドイル。詩人：ホプキンス、イェイツ
12	アメリカ文学史⑤　第一次大戦と海外膨張政策　（自然主義小説） ノリス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨　第一次世界大戦とその周辺ⅲ…小説家：オスカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家：バーナード・ショウなど
13	ジャック・ロンドンTo Build a Fireの読解	31	イギリス文学史⑪　第二次世界大戦とその周辺…戦争と歴史。作家：ヴァージニア・ウルフ、ジェイムズ・ジョイスなど
14	アメリカ文学史⑥　モダニズムの時代…狂騒の20年代ｉ キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑫　第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家：ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど
15	アメリカ文学史⑦　モダニズムの時代…狂騒の20年代ⅱ フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① ”人種（Race）”
16	アメリカ文学史⑧　モダニズムの時代…ジャズ・エイジⅲ フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② ″社会階級（Social Class）″
17	論文を読む。Theme，先行研究、Thesis statementに着目する。 （『ハックルベリーフィンの冒険』）	35	文学研究の「テーマ」について③ ”性差（Gender）″
18	論文を読む。Theme，先行研究、Thesis statementに着目する。 （『ロミオとジュリエット』）	36	文学研究の「テーマ」について④ ″セクシュアリティ(Sexuality)”

成績割合	テスト	単位認定試験を期末試験の代わりとする。	学習FB方法	レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等
	学習態度・出席率	50パーセント		
	レポート	50パーセント	成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30　R≪実働実践型学習≫10　A≪主体的参加型学習≫30　G≪海外体感型学習≫30
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育（英米文学）課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	英語基礎Ⅰ		担 当 者 名	鈴木 良	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。				
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	Unit 1	19	Unit 8
	2	Unit 1	20	Unit 8
	3	Unit 1	21	Unit 8 小テスト、Unit 10
	4	Unit 1	22	Unit 10
	5	Unit 1	23	Unit 10
	6	Unit 4	24	Unit 10
	7	Unit 4	25	Unit 10 小テスト、Unit 12
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4	26	Unit 12
	9	Unit 4	27	Unit 12
	10	Unit 4	28	Unit 12
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6	29	Unit 12 小テスト、Unit 13
	12	Unit 6、レポート作成	30	Unit 13
	13	Unit 6、レポート作成	31	Unit 13
	14	Unit 6、レポート作成	32	Unit 13
	15	Unit 6	33	Unit 13 小テスト
	16	前期期末試験	34	まとめ
	17	Unit 8	35	後期期末試験
	18	Unit 8	36	試験返却

成績割合	テスト	45%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計	100%		

P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60%　R≪実働実践型学習≫0%　A≪主体的参加型学習≫60%　G≪海外体感型学習≫100%
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	大学支援　総合Ⅰ		担 当 者 名	高木 佳子	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるリポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 （ラーニング アウトカムズ）	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのリポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				

授業計画表

	授業内容		授業内容
1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式
2	授業オリエンテーション 履修科目のリポート課題提出について	20	俳諧の歴史
3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学
4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類
5	「国文学基礎講義」リポート課題概説　リポート作成に向けて	23	「国文学講義」Ⅰ(上代)　課題1　リポート作成に向けて
6	『日本古典文学』 第1章　古代(一記紀と風土記を読む	24	『国文学講義』1(上代)　レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌について。
7	「国文学基礎講義」課題1　リポート作成	25	「国文学講義」Ⅰ(上代)　課題1　リポート作成　テキスト以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定
8	『日本古典文学』 第7章　近世(一近松と西鶴の文学を読む	26	『万葉集』の「宴席歌」について
9	「国文学基礎講義」課題2　リポート作成に向けて	27	「国文学講義」Ⅰ(上代)　課題2　リポート作成に向けて
10	「国文学基礎講義」課題2　リポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から　田辺福麻呂の歌　巻18(4032～4035)
11	「国文学概論」　リポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から　橘諸兄の歌　巻17(3926左)
12	『国文学概論』(第二分冊)　物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」　藤原朝臣仲麻呂の歌から　巻20(4242・4487)
13	「国文学概論」課題1　リポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から　巻17(3943～3955)の宴席歌群について
14	『国文学概論』(第四分冊)　近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から　大伴坂上郎女の歌　巻4(585・651・652)
15	「国文学概論」課題2　リポート作成	33	『万葉集』の宴席を考える―梅花の宴を通して
16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』1(上代)　レポート課題の作成・提出に向けて
17	鴨長明と兼好　『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ／振り返り
18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ／振り返り

成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期　答案返却
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫30%　R≪実働実践型学習≫30%　A≪主体的参加型学習≫30%　G≪海外体感型学習≫10%			
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学　和歌文学)			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				

授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション・就活状況の確認		19	後期の講義内容に関して＆個人面談
	2	内定後の過ごし方＆個人面談①		20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル
	3	一般常識ワーク＆個人面談②		21	一般常識ワーク＆個人面談①
	4	ビジネス書読書＆個人面談③		22	一般常識ワーク＆個人面談②
	5	【自習】目指す業界の未来を考える＆個別面談		23	ビジネス書読書＆個人面談③
	6	【自習】企業研究(国内外)＆個人面談		24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)
	7	目指す業界の未来を発表する		25	前期で上がった課題に関するワーク
	8	【自習】第二志望の業界を調べる＆個人面談		26	就職後の目標設定①
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える＆個人面談		27	就職後の目標設定②
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)＆個人面談		28	コミュニケーションスキル①聴く力
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)＆個人面談		29	コミュニケーションスキル②理解する力
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)＆個人面談		30	コミュニケーションスキル③伝える力
	13	海外で働くことをイメージ		31	個人面談④　卒後ビジョンを基に
	14	一般常識ワーク＆個人面談④		32	個人面談⑤　卒後ビジョンを基に
	15	一般常識ワーク＆個人面談⑤		33	個人面談⑥　卒後ビジョンを基に
	16	前期　振り返りと課題発見		34	確認テスト・まとめ1
	17	後期の課題解決に向けたGD		35	確認テスト・まとめ2
	18	前期　振り返り		36	確認テスト・まとめ3

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担 当 者 名	キャリアセンター　井上・(宮鍋)	
学　科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開 講 期 必・選	通年 必修選択	授 業 時 間 数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク　②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り
	2	職業観の醸成(3名のレンガ職人)	20	社会人基礎力の確認
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究　モチベーショングラフ　自分の価値観
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは
	5	社会探究の方法　ヒント	23	学生が企画する授業①
	6	インターンシップの目的　期間と時間　活用　選び方　探し方	24	学生が企画する授業②
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備
	8	グローバルな働き方	26	図書館　感銘を受けた本ワーク
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法
	10	インターン対策　ルールマナー編＆自己探究	28	自己PR 動画作成
	11	インターン対策　面接編	29	オンライン面接の練習
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習
	13	インターン計画	31	Gワーク練習
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方
	15	自己探究　自分から見た強み　社会から見た強み	33	冬のインターン報告会
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク
	18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク

成績割合	卒後ビジョンの提出	70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)	30%		
			成績評価	S90～100点　A80～89　B70～79点 C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	■P≪課題解決型学習≫　40 %　■R≪実働実践型学習≫　20 %　■A≪主体的参加型学習≫　30%　■G≪海外体感型学習≫　10 %			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	一般常識Ⅱ		担 当 者 名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	″数学　高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要を思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語　コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会　社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。″				
授業概要	″数学　必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語　漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会　日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。″				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	数学　中間テスト1回目　国語　語句の読みと意味
	2	オリエンテーション	20	数学　中間テスト2回目　国語　日本文学
	3	オリエンテーション	21	数学　中間テスト2回目　国語　日本文学
	4	国語　オリエンテーション 数学　百分率・歩合	22	数学　百分率・歩合・速度　国語　成績判定試験
	5	数学　速度　国語　漢字の読み・諺	23	数学　単位・比例と比例式　社会　民主主義
	6	数学　単位　国語　授業のみ	24	数学　小テスト　社会　日本国憲法
	7	数学　比と比例式　国語　漢字の読み・諺	25	数学　倍数・約数　社会　国際社会
	8	数学　倍数・約数　国語　慣用語・常用漢字外	26	数学　因数分解　社会　資本主義経済・企業
	9	数学　因数分解　国語　漢字一字の書き取り	27	数学　小テスト　社会　国民経済・日本の経済
	10	数学　一次方程式　国語　二字熟語の書き取り	28	数学　一次方程式・連立方程式　社会　貨幣・金融・財政
	11	数学　連立方程式　国語　同訓異字の書き取り	29	数学　二次方程式　社会　日本史(近世・近代・現代)
	12	数学　二次方程式　国語　同音異義語の書き取り	30	数学　小テスト　社会　世界史
	13	数学　図形の面積　国語　同音異義語の書き取り	31	数学　図形の面積　社会　日本地理
	14	数学　図形の体積　国語　対義語・類義語の書き取り	32	数学　図形の体積　社会　世界地理
	15	数学　一次関数　国語　似形異字の書き取り	33	数学　小テスト　社会　思想・社会・文化
	16	数学　二次関数　国語　書き誤りやすい漢字	34	まとめ
	17	数学　場合の数　国語　同字異音・異訓の読み書き	35	まとめ
	18	数学　確率　国語　四字熟語の読み書きと意味	36	まとめ

成績割合	テスト	数学 60%　国語・社会 40%	学習FB方法	成績通知
	学習態度・出席率	数学 40%　国語・社会 0%		
	レポート	数学 0%　国語・社会 40%	成績評価	S90～100点　A80～89点　B70～79点　C60～69点　D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール	″数学担当　最終学歴:岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。 国語・社会担当　最終学歴:慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドヴァイザリー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。″			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	特別講座2A 大学支援　総合Ⅱ		担 当 者 名	若林 芳勝	
学　科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目（全8科目）の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、リポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション	19	講義
	2	オリエンテーション	20	講義
	3	講義	21	講義
	4	講義	22	講義
	5	講義	23	講義
	6	講義	24	講義
	7	講義	25	講義
	8	講義	26	講義
	9	講義	27	講義
	10	講義	28	講義
	11	講義	29	講義
	12	講義	30	講義
	13	講義	31	講義
	14	講義	32	講義
	15	講義	33	講義
	16	講義	34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ
	18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ

成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表
	学習態度・出席率	50%		
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90～100　A80～89　B70～79 C60～69 D59以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫25%　R≪実働実践型学習≫25%　A≪主体的参加型学習≫25%　G≪海外体感型学習≫25%			
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1, 民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②
	18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③

成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付
	学習態度・出席率	30%		
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫100% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫30% G≪海外体感型学習≫5%			
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり			

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ (2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	9	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説
	10	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1
	11	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1
	12	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2
	13	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2
	14	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュケーションレポート課題
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験
	18	前期期末試験	36	試験返却

成績割合	テスト	20%	学習FB方法	口頭
	学習態度・出席率	10%		
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫60%　R≪実働実践型学習≫40%　A≪主体的参加型学習≫40%　G≪海外体感型学習≫100%			
講師プロフィール				

TECHNOS COLLEGE

シ ラ バ ス

科目名	総合講座Ⅱ		担 当 者 名	月本 直子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 （ラーニングアウトカムズ）	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するリポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のリポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				

授業計画表		授業内容		授業内容
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論「敬語」
	3	国文学史Ⅰ リポート作成	21	国語学概論「日本語教育」
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」
	5	国文学史Ⅰ リポート作成	23	リポート作成
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」
	16	リポート作成に向けて	34	まとめ
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ
	18	国語学概論 「意味」	36	まとめ

成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。
	学習態度・出席率	30%		
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫60% A≪主体的参加型学習≫80% G≪海外体感型学習≫20%			
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。			